

(様式5)

事業所名グループホームといはた

## 目標達成計画

作成日:平成21年12月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	入居者用トイレはカーテンで仕切られている。気にしている入居者は職員用トイレを利用しており現段階では問題はないとのことだが、入居者や家族の気持ちや考えの再確認を期待したい。	入居時に戸のあるトイレを希望される人には、職員の使用しているトイレを提供し、プライバシーの尊重を重視する。	戸のあるトイレにトイレマークを表示し、使用した入居者からも使い心地などの意見を聞き、使用後の表情なども観察する。	1ヶ月
2	17	現在入浴日を増やす事が検討されている。入浴したい日に入れるようになれば、なお一層の支援に繋がると思われる。	定期的な入浴日と希望者、必要性のある人には随時入浴提供を行なう	定期的な入浴日の他に、入浴希望者や必要性のある人(畑作業や屋外散歩利用者)には随時温泉入浴やユニットバスでの入浴を提供する。	1ヶ月
3	6	家族はお世話になっているという意識が大きく、要望や意見が出にくいことも考えられる。無記名のアンケートや家族会として意見をまとめるシステムを作る事で、家族意見が反映された運営につながると思われる。	ご家族だけで話し合う場を設け意見や無記名アンケートなどを頂き、今後の運営に反省させる。	ご家族だけの場での意見を尊重しアンケートなども作り、利用者、ご家族、ホーム側で意見交流を反映させ今後の運営につなげる。	10ヶ月
4	12	事業所の実施しているケア内容の範囲などについて具体的に明文化し、現在の利用者の状態にかかわらず家族に説明することを期待したい。明文化によって、職員の共通認識にも繋がると思われる。	重度化、終末期についても主治医と連携を図り本人様、ご家族様にも安心をしていただけるように文章に文言を入れて説明を行い、職員の共通認識とする。	重度化、終末期については入居当時ケア内容の説明の中に文言を入れ説明を行う。	1ヶ月
5	4	市町村への積極的な情報の提供が地域の介護サービスの活性化に繋がると思われる。今後の一層の情報共有に期待したい。	市町村とも情報の共有を行い今後一層のご指導を仰ぎ介護サービスの活性につなぐ。	地域包括支援センターや運営推進委員会などの担当者や報告連絡、相談を行い事業所の実情やケアサービスの活性、向上につなげていく。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。